

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
• 学部	システム理工学部		
• 学科(コース等)	機械制御システム学科		
• 学年(渡航開始時)	学部3年		
• ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい	☒ 学部・学科まで掲載してよい	☐ 完全匿名での掲載を希望

留学先情報			
• 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型	☐ オンライン型	
• プログラムタイプ	☒ 授業履修型	☐ 研究室配属型	
• 国・地域名	スイス・ヴォー		
• 都市名	ローザンヌ		
• 留学先大学名	スイス連邦工科大学ローザンヌ校（EPFL）		
• 留学期間	☐ 3ヶ月未満	☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度）	☐ 半年～1年（2セメスター程度）
• プログラム期間	プログラム開始時期 （2021年9月上旬等）	2024年8月下旬	プログラム終了時期 （2021年9月上旬等）
• 留学時期 （主に留学をしていた時期にチェックをお願いします）	☐ 1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 3年前期 ☒ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期 ☐ 修士1年前期 ☐ 修士1年後期 ☐ 修士2年前期 ☐ 修士2年後期 ☐ 博士以上		
• 上記協定校を志願した理由を教えてください。	もともとヨーロッパに興味があり、スイスは治安が良く、幸福度の高い国として知られていること、公用語が地域によって異なり、言語や文化が交差する多様性を感じられることに魅力を感じ、留学先として選びました。さらに、EPFLは世界的に評価の高い名誉ある大学であり、そのような教育機関で学ぶことは貴重な経験になると考えたため、志望しました。		
• （研究室配属型のみご回答ください） 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 （SIT指導教員の紹介等）	-		

留学中の学籍について	
• 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
• 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 （留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等）	システム理工学部の国際プログラムに所属しているため

留学先での学習・研究状況			
• 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。	EPFLのSchool of Life Sciences(SV)に所属し、Biomedical Engineeringの分野で留学しました。主に、評価基準としてレポート、プレゼンテーション、グループワークが含まれる授業を受講しました。テストのみの科目と比べて、語学力を向上させる機会や他の学生と交流する機会が多いと感じたためです。さらに、授業に加えて興味のある分野の研究室にコンタクトを取り、ラボのプロジェクトにも参加しました。		
• 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。 (たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)	科目名①	Applied software engineering for life sciences	単位数 (現地単位数) 4
	科目概要	Pythonのプログラミング、Gitを用いたバージョン管理、デバッグやテスト手法について講義で学びました。演習のグループワークでは、生命科学分野の課題に取り組み、GitHub上でコードを管理しながら開発を進めました。具体的には、Hopfieldネットワークのシミュレーションを行い、パターン管理、重み計算、ネットワークの動作解析、可視化ツールの実装、プロファイリングによる性能評価を実施しました。また、個人評価としてPythonの小テストも数回行われました。	
	科目名②	Mechanical engineering project I	単位数 (現地単位数) 10
	科目概要	研究室のプロジェクトに参加し、ポストドクターの指導のもと研究を進めました。途中で中間発表を行い、最終的にレポートとプレゼンテーションで成果を発表しました。	
	科目名③	Selected topics in life sciences	単位数 (現地単位数) 3
	科目概要	この授業では、研究・産業・起業など異なる分野で活躍する講師を毎回招き、その人生や研究内容について講義を受ける貴重な機会が得られました。事前に講師の発表した論文を読み、講義後には質疑応答やディベートを行いました。さらに、授業内容や講義に関連したテーマについてのレポート課題が数回ありました。最終課題としては、自分の興味のある研究についてプレゼンテーションを行いました。	
	科目名④	French – Integrated Skills Modules	単位数 (現地単位数) 3
	科目概要	フランス語圏での生活に備え、A0レベルのクラスを受講しました。授業は、講義1コマに加え、オンライン学習プラットフォームを活用したPC室またはZoomでの自習1コマ、さらに各自の自習とその報告を行う形式で進められました。学期の最後には期末試験も実施されました。	
	科目名⑤		単位数 (現地単位数)
	科目概要		
	科目名⑥		単位数 (現地単位数)
	科目概要		

留学先での学習・研究以外の交流活動	
交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。	部活やサークルには所属していませんでしたが、グループワークのある授業を履修することで現地の学生と交流する機会がありました。EPFLの学生は英語を流暢に話すため、日常生活で困ることはほとんどないと思います。日本人の留学生だけでなく、正規生として学んでいる方もいました。

自由記述欄	
留学で感じたこと等、自由に記載してください。 (当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)	スイスは山、湖、ブドウ畑に囲まれ、自然が豊かで美しい国です。外の風景を眺めているだけで心が落ち着き、穏やかな気持ちになりました。 一方で、EPFLへの留学では宿泊先探しが大きな課題になると感じました。需要に対して供給が全く追いついておらず、多くの学生が必死に家を探しているため、詐欺も横行しています。個人的に、スイスで唯一治安の悪さを感じたのはこの点でした。詐欺を避けるために、物件を決める前に必ずZoomなどで内見を行うことをおすすめします。写真だけでは分からない物件の雰囲気をつかめるだけでなく、安全確認にもなります。また、デポジットが高額な場合は特に注意が必要です。通常は家賃1ヶ月分程度ですが、3ヶ月分などあまりにも高額な金額を要求される場合は詐欺の可能性が高いです。さらに、怪しいと感じた場合はIDカードの提示を求めて、信頼できる人物か確認することをおすすめします。知人の中には、詐欺師から名前や顔写真を雑に加工されたIDカードを提示され、不審に思っ詐欺を見抜いた人もいました。今後、技術の進化によって見分けが難しくなるかもしれませんが、現時点では粗い加工であれば気づくことができると思います。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）

- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

日本人はスイス入国時にビザは不要ですが、渡航後3ヶ月以内に滞在許可証の申請と取得が必要です。ただし、市によっては手続きに時間がかかることがあり、私の場合は何度か催促のメールを送ってようやく申請の4ヶ月後に生体認証の案内が届きました。指紋・顔写真・サインの登録を行い、最終的にIDを取得できたのは申請から4ヶ月以上経ってからでした。また、スイスでは3ヶ月以内に健康保険への加入が義務付けられています。日本で加入する海外旅行保険ではスイスの保険基準を満たさないため、基本的に現地の健康保険に加入する必要があります。さらに、宿泊先との契約内容によっては家具や所持品の保険への加入が求められる場合もあります。私の住んでいた市では、ゴミ税の支払いも義務付けられていました。これらのお知らせは滞在許可証の申請後に届くため、その都度対応すれば問題ありません。

- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

- 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）

ホームステイ

過去にホームステイをしていた先輩に紹介していただきました。EPFLに留学する場合、ローザンヌの学生向けハウジング検索サイト「FMEL」などを活用して自分で宿泊先を探す必要があります。しかし、学生の数に対してハウジングの供給が追いついていないため、見つめるのは非常に難しく、数ヶ月かかることもあります。学期が始まっても見つからないケースや、契約期間が短く学期中に引越しを余儀なくされる場合もあります。また、大学が管理しているサイトであっても詐欺の事例があるため、十分に注意してください。

- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

電車を乗り継ぎ最寄駅まで向かい、駅からはホストマザーに車で送迎してもらいました。

バス、電車、メトロを用いての通学で所要時間は45分ほど。

- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

子育てを終えたホストマザーの家にホームステイし、家を出た子供の部屋を使わせてもらっていました。ホストマザー、息子1人、犬2匹が暮らす庭・畑・ガーデン付きの一軒家で、ブドウ畑やレマン湖、その先のフランス領まで見渡せる素晴らしい景色が広がっていました。暖かい時期は、ホストマザーが畑の野菜で自給自足したり、レマン湖でスキューバダイビングを楽しんだりするなど、自然と共に暮らすスイスらしい生活を間近で見ることができました。さらに、ヨーグルトやパンを手作りする温かみのある家庭の暮らしも味わうことができました。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	-	
往復航空券代(往復)	¥289,500	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥118,600	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥25,500	滞在許可証申請(¥22,000)、生体認証(¥3,500)
計	¥433,600	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥101,000	相場よりもかなり安いです。
食費/月	¥10,000	普通の食生活を送ろうと思ったら月10万円ほどになると思います。学食も安くて2500円ほどです。
その他/月	¥35,000	定期代
計	¥146,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	西欧均一でこの支給額ですがスイスは他の西欧諸国に比べてもかなり物価が高いので足りないと思います。
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

Rolex Learning Center は、図書館や自習スペースを備えた大学のシンボリックな建物です。奥にはレマン湖と山々が広がる美しい景色が望めます。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

私が借りていたこの部屋からは、窓越しにブドウ畑と山が見え、もう一つの貸し出し部屋からは、坂の下に広がるレマン湖を望むことができる素敵な家でした。

その他、任意の写真



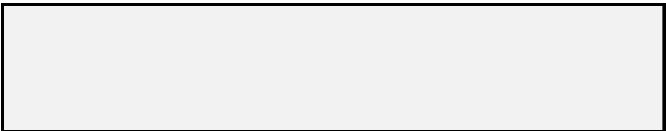
説明文

これは、ホームステイ先から最寄り駅へ向かうバスからの景色です。坂道に広がる一面のブドウ畑、その先にはレマン湖、さらに遠くにはフランス領の山々まで見渡せました。

その他、任意の写真



説明文



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。